

令和7年度 第3回
沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会
会議録

と き：令和7年12月22日（月）

ところ：水道部庁舎 3階会議室

司会	<p>定刻となりましたので、令和7年度第3回沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会を開催します。</p> <p>本日は5名の委員が欠席していますが、委員の半数以上が出席していることから、審議会条例第6条第2項の開催要件を満たしていることを報告します。</p> <p>以降の審議は、審議会条例第6条の規定により、松井会長に議長をお願いします。</p>
会長	<p>議事に入る前に本日の議事録の署名人の選出を行います。</p> <p>本日の議事録署名人については鈴木委員、土屋委員をお願いします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>議題1 沼津市水道事業ビジョンの改定について、事務局から説明をお願いします。</p>
上水道工務課長	<p>《資料1：沼津市水道事業ビジョン、資料2：沼津市水道事業ビジョンの改定における変更点について説明》</p>
会長	<p>ただいまの事務局からの説明に対し、ご質問はありますか。</p>
委員	<p>資料1の P15で鉛製給水管を率で表現されていますが、P35では鉛製給水管については件数で示されています。率の表記と、件数の表記とどちらかに統一していただきたいと思います。</p> <p>現在の2100ヶ所から、今後残り5年で90ヶ所ぐらいを減らす計画であるという理解でよいでしょうか。</p>
上下水道工務課員	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>有機フッ素化合物の検査が義務付けられることについて、沼津市は既に実施しており、結果は基準以下ということですが、その数値がどれくらいか教えてください。</p> <p>もう1点、富士山近辺の産廃業者等から、意図せずフッ素化合物が漏れ出すと、地下水の水質に影響する可能性があるのではないかと恐れています。富士山近辺の産廃問題について、対応、監視をするような方向になっているのか、最近の状況がわかるようであれば教えてください。</p>
送水係長	<p>水質検査の結果として、すべての給水末端水栓で、基準値50ng/L に対し5ng/L未滿となっていることを確認しております。</p>
上水道工務課長	<p>産業廃棄物に関しては社会問題として把握していますが、監視等の現状については水道部ではわかりかねます。</p>
委員	<p>現在、給水区域内で低水圧となっている地域はあるでしょうか。</p>
送水係長	<p>現在はないと考えています。</p>
委員	<p>低水圧地域がないのであれば、資料1の P14に挙げられている「低水圧地域の解</p>

	<p>消」の記載を削除してもよいのではないのでしょうか。もし記載されるのであれば、どのような対応をされるのか伺いたと思います。加えて、資料1の P12「おいしい水」の要件について説明をお願いします。</p>
送水係長	<p>低水圧地域の解消についてですが、現在は恒常的な低水圧地域はないと認識していますが、時間帯等で水の使用量が増えた場合、蛇口から出る水量が減ってしまい、「水圧が低い」という問い合わせが入ることがあります。その際に配管に設置してある仕切弁等の調整をするなどの対応が必要となることから、掲載しているものです。</p>
経営係長	<p>P12の「おいしい水の要件」についてですが、過去に厚生労働省のおいしい水研究会の中で、おいしい水の条件を示しています。本項では、示された条件と沼津市の検査結果を掲載しており、沼津市は全ての項目でおいしい水の要件の範囲内に入っていることから客観的に見たときにおいしいと判断できることを記載しています。</p>
委員	<p>資料1の P12のアンケートの回答数について、令和4年度の回答数が 312 とあるが令和7年度は 118 人に減ってしまっています。</p> <p>加えて、資料1の P54に記載されている PR 活動は、年2回以上実施していると思いますので、実態に合わせて目標値の2回/年を増やしてもよいと思います。</p>
経営係長	<p>アンケートの回答数に関しては、年度の記載が逆になっていました。</p> <p>イベントでのPRについては、近年回数を増やしており、今後もさらに PR をしていくことを考えていることから、目標値については表現を検討したいと思います。</p>
会長	<p>このほかにご意見はありませんでしょうか。</p> <p>なければ、次の項目「強靱」について事務局から説明をお願いします。</p>
上水道工務課長	<p>《資料2:基本理念の観点「強靱」について説明》</p>
会長	<p>ただいまの事務局からの説明に対し、ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>基幹管路や施設の耐震化について、重要施策とされている項目についてより前倒しで進めることは可能でしょうか。難しい場合は、どのようなことが障害としてあるのでしょうか。</p>
上水道工務課長	<p>さまざまな制約があり、すぐに耐震化できるものと、関係機関等と調整しなければならないところもあり、それが課題となってすぐにできないところもあります。</p> <p>施設の耐震化を進めていかなければならないというのは十分承知しており、なるべく100%に近づけるように取り組んでいくこととしています。</p>
委員	<p>今この場での回答は不要ですが、優先管路の耐震化率 39.3%というのは全国的に見ると、どの程度なのか教えていただきたいと思います。</p> <p>また、基幹管路の強靱化は重要なことなので、市の一般会計からお金を支出してもらってでも進めるべきではないのでしょうか。災害時には病院など様々なところで水が必要になると思いますので強靱化を進めていただきたい。</p> <p>併せて、ビジョンの目標をさらに高めるためメリハリをつけた予算設定をお願いしたいと思います。</p>

水道総務課長	<p>水道事業は、ヒト・モノ・カネが全国的な課題となっており、本市においても同じような課題を抱えています。</p> <p>ヒトについては、全国的な傾向でもありますが、施設の更新等を行う職員や、また民間の水道工事会社の従業員も少なくなっている状況にあります。</p> <p>カネについては、水道事業は独立採算制の原則に基づき、皆さんからいただく水道料金で経営しております。一般会計からの繰出というものはほとんど受けてなく、このような状況の中で、施設の更新や耐震化等の目標値を高めていくことは難しくなっています。このため、後ほど、経営戦略の中でも説明しますが、収支の均衡を図り、優先順位をつけながら整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>現状では施設整備等の目標値が同じ、又は若干高くしているものもありますが、施設整備については、優先順位をつけながら、今後も皆さんに、安全・安心で安定的に水道水を供給できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。</p>
委員	<p>配水池の耐震化率は、休止中の配水池も含んでの耐震化率ということでよいでしょうか。</p>
上水道工務課員	<p>現在休止中の配水池を含めた数値となっています。</p>
会長	<p>このほかにご意見はありませんでしょうか。 なければ、次の項目「持続」について事務局から説明をお願いします。</p>
上水道工務課長	<p>《資料2：基本理念の観点「持続」について説明》</p>
会長	<p>ただいまの事務局からの説明に対し、ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>資料1の P37、耐震化優先管路整備図にあるような重要施設の位置ですが、市民の方々にまだ十分に周知されていないと思ひます。市民へのサービス提供の一環として、例えばこれから配る市民カレンダーやチラシに記載するなど、周知に努める必要があるかと思ひます。</p>
上水道工務課長	<p>地域防災計画の中に、重要施設等について取りまとめたものがあります。関係機関である消防や防災関係の部署と連携し、このような施設の PR について検討していきます。</p>
委員	<p>資料1のP40に管路の耐用年数表がありますが、資料1のP16、鑄鉄管の耐震性の文章の中で「国土交通省は、鑄鉄管ゼロを目指す方針を示しており、本市においても鑄鉄管の更新計画を進めているところです」とありますが、鑄鉄管自体に問題があり、ダクタイル鑄鉄管であれば耐震性があるという理解でよいのか教えてください。</p>
上水道工務課長	<p>鑄鉄管は、製品としてダクタイル鑄鉄管が出てくる前の管です。昔重要な管に使っていましたが防水性が低く、年数が経つと破損して漏水してしまうので、ダクタイル鑄鉄管という管に置き換わってきました。ダクタイル鑄鉄管は弾性があり、ねじりや曲げに強い管となっておりそちらを使って、古い鑄鉄管を取り替えていきます。</p>

委員	<p>計画を策定した後は、どのようにして実現性や実効性を高めていくかということになると思います。</p> <p>例えば、防災の観点で重要施設をどのように周知を進めていくのかというご意見や、沼津の水をもっとPRすべきだということはそのとおりだと思います。</p> <p>世界的に見ても水道水を飲める国はわずかしがなく、その日本の中でも沼津の水はとてもおいしいと思いますので、もっと積極的にPRをしてもよいと思います。</p> <p>資料1の P31で、ほとんどの方は「広報ぬまづ・しみず」で水のことについて情報を得ているということですが、「広報ぬまづ・しみず」の読者層ではない若い世代やインバウンドの方、他の地域から来た人たちにどうPRしていくかということをもう少し具体的に考えていただきたいと思います。その観点からもデジタルの情報 DX AI をどんどん使っていただきたいと思います。</p> <p>人流を変えるという、人の行動変容を促すことは難しいですが、そのようなアプリを使ってできる仕組みを研究していただき、目の前の課題をどうやって効率的かつ有効に解決していくのかということ、次に取り組んでいただければと思います。</p>
水道総務課長	<p>本市においては、泉源地という貴重な水源を持っており、他市町に誇れる非常においしい水を確保できております。普段当たり前に使っている水のありがたさや、おいさをできるだけ皆さんにも知っていただき、改めて認識してもらう意味で、様々な機会を見つけPRをしています。</p> <p>定期的にSNSやホームページで情報を発信し、年に1回広報誌を「広報ぬまづ」や「広報しみず」と一緒に配布してPRに努めています。</p> <p>ご意見いただきました市外や県外、海外の方へも、さまざまな機会や媒体を活用して情報発信していきたいと思います。</p>
委員	<p>ホームページのリニューアルは昨年実施したから、指標から削除したとのことですが、今意見が出たことについてホームページ等でどんどんPRしていただきたいと思います。</p> <p>特に防災の関係で、他の委員からもご意見がありました水源地や、ここに行けば給水できるというものをホームページに載せていただくことは簡単だと思います。難しいようならば地域ごとでもホームページに掲載していただきたいと思います。</p>
水道総務課長	<p>昨年度、ホームページをリニューアルしたため、今回の見直しで指標から削除させていただきましたが、今後、ホームページの充実や、動画の発信等を検討していきたいと思います。</p>
経営係長	<p>ホームページのリニューアルについては削除をしましたが、水道部のPRについては今年度本市の広報アドバイザーに相談し水のPRをどのようにしたらよいか検討を進めています。</p> <p>イベントへの出席については、今年度も複数回参加していますので目標値を修正します。</p>
会長	<p>随時開催等、回数ではなく、随時実施など言葉を変えた方がよいと思います。</p>
委員	<p>イベントでペットボトルを配布するというのは、ペットボトルを売りたいのか、水道水を常時使ってもらうように促していきたいのか、どのような方向性にあたるのでしょうか。</p>
経営係長	<p>ペットボトルは販売するものではなく、広報の一環として配布しています。ペットボトルを配布する目的は、蛇口から水道水を飲んでもらいたいというPRをするためです。</p>

	<p>ただ、イベントで渡すだけではなく、沼津市の水道水がどのように蛇口から出てくるのかパネルで説明するなどPRしながら配布しています。</p> <p>引き続き PR を行っていくにあたり、ホームページや先ほどのご意見にあったアプリ等の DX 等を使用し広めていくことも検討したいと考えております。</p>
会長	<p>このほかにご意見はありませんでしょうか。</p> <p>なければ、議題2、沼津市水道事業経営戦略の改定について、事務局から説明をお願いします。</p>
水道総務課長	《沼津市水道事業経営戦略改定について説明》
会長	ただいまの事務局からの説明に対し、ご質問等はありませんか。
委員	資料4のP37、収支計画表の純利益のところ、令和14年度までは黒字ですが、令和15年度から赤字となっている。経営戦略の中で、これに対する対策は書かれているのでしょうか。
水道総務課長	<p>投資・財政計画では、今後の物価上昇の見込み等を反映させていくと、令和15年度頃に純損失になると想定されています。</p> <p>対策として、資料4のP40に①「料金収入の増額(料金改定)」を記載しておりますが、毎年度、決算がまとまりましたら、審議会の委員の皆さんには、経営戦略の計画との比較を示しながら、経営状況を説明していきます。</p> <p>料金については、改定の有無に関わらず、経営審議会条例で5年ごと審議をすることとなっていますので、よろしくをお願いします。</p>
委員	資料4のP37の収支計画のところですが、支払利息の金利は、どのような前提を想定しているのでしょうか。
水道総務課長	企業債については、P38の一番上に借り入れの見込み額を掲載していますが、この見込み額に年利2.0%を適用し利息を計算しています。
委員	金利は上振れすることが想定されるということですが、現状の企業債の金利水準について、沼津市がマーケットにおける借手としての信用力に応じて国債プラスアルファで払うのではないかと思います。その上乘せ分の変動はいかがですか。また、元本均等弁済なので、実際には使えるお金は10年借りても5.5年ということになるかと思いますが、例えば満期一括返済の生命保険会社とか信託銀行があったら、そこから借りる可能性はありますか。
水道総務課長	<p>沼津市の水道事業では現在、できるだけ長期間安定的に借り入れられるとして、地方公共団体金融機構から借り入れを行っています。管路の耐用年数40年間に応じ、40年償還としています。</p> <p>企業債の金利について、借入利率は毎月少しずつ上がっているような状況です。</p>
委員	先ほどペットボトルの話が出ましたが、実際に水道水の飲用促進のPR事業の一環として、アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」と水道部がコラボするなど、ラベルの一新をぜひ一つの検討の課題としてやっていただきたいと思います。

経営係長	わかりました。著名な方がデザインしていただいた「gift」というデザインですが10年ほど使っているデザインなので検討してみます。
会長	このほかにご意見はありませんでしょうか。 ないようですので、以上で本日の審議を終了いたします。 議事録署名人として鈴木委員、土屋委員、よろしく申し上げます。
経営係長	本日、いただきました様々な意見について今後、追記、修正をします。 修正後、第4回の経営審議会で改めて審議をさせていただくか、又はここで一旦今年度の審議会を締めさせていただき、市の方で修正をしたものを配布することで承認していただく形とさせていただくか、どのようにいたしましょうか。
会長	私としては事務局の方に一任をお願いをしたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
会長	一任ということでよろしく申し上げます。
司会	以上で、第3回経営審議会は終了となります。 今回、資料としてお渡ししました水道事業ビジョン及び水道事業経営戦略の改定案につきましては、今後事務局にて修正を行った後、最終案として各委員の皆様へ送付させていただきます。 なお、今後の改定スケジュールですが、最終案をまとめ、2月にパブリックコメントを実施した後、正式に改定となる予定ですので、よろしく申し上げます。 本日はお忙しい中ありがとうございました。